

◎第2期教育プランの課題

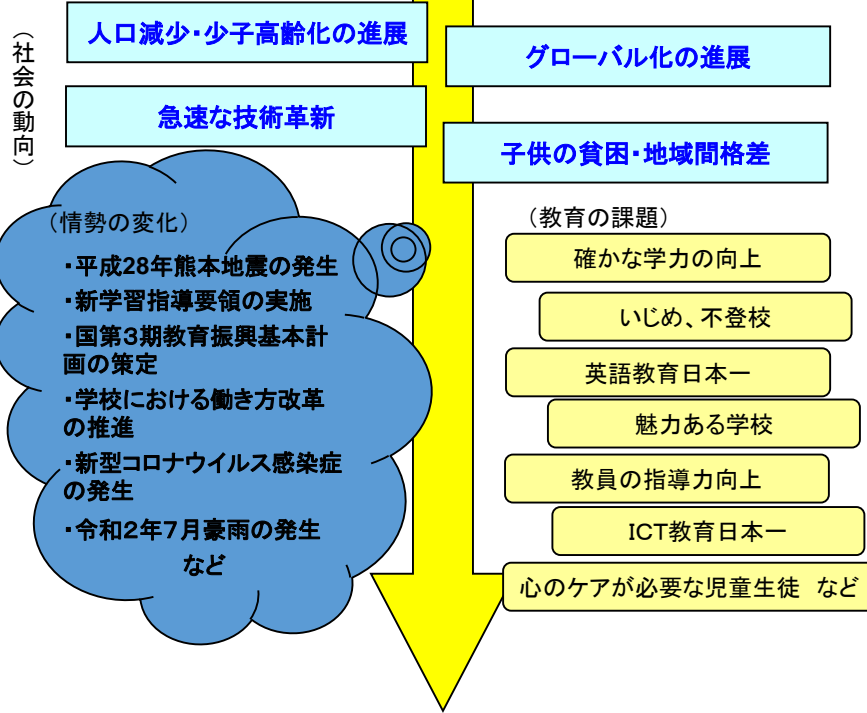
『夢を叶えるミッション』	主な課題
①家庭教育支援にしっかり取り組みます	・指標は目標未達成 ・子供の就寝時刻等は、家族の生活時間の影響が大きい
②いじめのない学校をつくります	・指標は概ね概ばいで目標未達成 ・いじめの認知件数、不登校児童生徒数は全国的にも増加傾向
③「熊本の心」を活用して豊かな心をはぐくみます	・指標は目標達成 ・一方で「学力」は概ね全国平均に留まっている
④障がいのある子どもの学びを支えます	・指標は目標達成 ・特別支援学校の児童生徒数の増加により全体的に教室が不足
⑤英語を話せる子供を増やします	・指標は目標達成 ・CEFR A1レベル相当の生徒数は全国平均に達していない
⑥貧困の連鎖を教育で断ち切ります	・指標は目標未達成 ・熊本地震、新型コロナウイルス等、格差拡大の懸念
⑦海外にチャレンジする若者を増やします	・指標は目標未達成 ・留学に係る経済的負担と語学力不足が課題
⑧進学や就職の夢を叶えます	・指標はほぼ目標達成 ・高校卒業後の県内就職率の向上が課題
⑨スーパーティーチャーをつくります	・指標は目標達成 ・定年退職者の増加により、若手教員への指導技術の伝承が課題
⑩地域に開かれた学校をつくります	・指標は目標達成 ・県立学校の定員割れが課題。魅力あり、選ばれる県立学校づくり
⑪学力向上につながる教育の情報化を推進します	・指標は目標未達成 ・ICTは学力向上、働き方改革、地域間格差の解消に資する

第3期教育振興基本計画骨子案

◎策定の趣旨

第2期教育プラン基本理念
郷土に誇りを持ち、夢の実現を目指す熊本の人づくり

平成26年3月第2期くまもと「夢への架け橋」教育プランの策定



令和2年度 第3期熊本県教育振興基本計画の策定

- 教育基本法第17条第2項に基づき策定する、県の教育の振興のための基本的な計画
- 計画期間 令和2年度～令和5年度(4年間)

◎基本理念

○「熊本の心」、「生きる力」、「考える力」を育成

夢を実現し、未来を創る 熊本の人づくり

◎施策体系

	取組の基本的方向性	取組事項
幼児期	①家庭・地域の教育力向上	1 家庭の教育力の向上 2 地域の教育力の向上 3 就学前教育の充実と初等教育との連携強化
	②安全・安心に過ごせる学校づくり	4 人権教育の充実 5 いじめ・不登校等への対応 6 貧困の連鎖を教育で断つ
	③確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成	7 確かな学力の育成 8 豊かな心を育む教育の推進 9 健やかな体の育成 10 社会の変化に対応した教育の推進
	④障がいや、多様な教育的ニーズに応える	11 特別支援教育の充実 12 県立特別支援学校の教育環境整備 13 多様なニーズに対応した教育
青少年期	⑤キャリア教育の充実とグローバル人材の育成	14 ふるさとを愛する心の醸成 15 キャリア教育の充実 16 外国語教育、国際教育の充実 17 優れた才能や個性を伸ばす教育 18 高等教育機関との連携 19 私立学校の振興(熊本時習館構想の推進)
	⑥魅力ある学校づくり	20 県立高校の特色づくりの推進 21 地域とともにある学校づくり
	⑦生涯学習社会を実現する	22 学習機会の充実 23 学習成果活用の仕組みづくり
成年期以降	⑧子供たちの学びを支える	24 教職員の人材確保、人材育成 25 学校における働き方改革の推進 26 教育の情報化の推進 27 学校の安全対策
	⑨文化とスポーツの振興	28 文化に親しむ環境づくり 29 文化財の保存・活用 30 県民のスポーツの振興 31 競技スポーツの振興
	⑩大災害からの復旧・復興	32 大災害からの復旧・復興

◎夢を叶える重点取組(今後4年間で重点的に取組む事項)

基本理念の実現に向け、特に重点的に進める取組を定めます。目標の達成に向け、「夢を叶える教育」を推進します。

(1)子供たちの夢を育む(幼児期～学校期)

- ① 家庭教育支援にしっかり取り組みます
- ② 子供たちが安全・安心に学ぶ学校をつくります
- ③ “生きる力”の基礎となる学力向上を図ります
- ④ 障がいのある子供の学びを支えます
- ⑤ 貧困の連鎖を教育で断ち切ります

(2)子供たちの夢を拓げる(主に高等学校～)

- ⑥ 英語教育日本一を目指します
- ⑦ 進学や就職の夢を叶えます

(3)子供たちの夢を支える(教育環境の整備)

- ⑧ 魅力ある学校づくりを進めます
- ⑨ 教員の指導力向上を図ります
- ⑩ ICT教育日本一を目指します

夢を叶える教育の実現